

とんるが軍情なるを知らしむる十でしとやふ今や秘の
露のうはまの昔の業の盛ふふこゝに今將軍家の思に
依てきまをえつた和運の思信の依てきまてふふ家海と
ふふんふたの時世の和人の和甲すこゝ之才の和を依て
ハ周易の多くハ甲すこゝづとも和より後ハ立
子の書也こゝと和ハ新と句解ハ范蠡が謀の意周易
王殷と攻ハ和をく其書よこゝを分ける名のある事共今更
新しく思ふ法ハ和くそととすれあふと氏家むと
感ハ和の義を安食と和守とをよめてあふと

今の上諸王は今の通法申すづと信とれつた
依て月の法ハ和すもとと味とてふ大時ハ産龍
と辰也又書也申せと上の子ハ和と時南と利勢
使然也易の繫辭ハ曰變通者赴時者也又孟子ハ聖人
輔時不能違時荀子天論篇ハ望時而待時孰とと
時而使之と申し春夏秋冬の節ハ曰日没月出日
拱辰とすしとと和其方ととと和すの時と
孟子ハ和也曰無有鑑焉不知待時矣若其時を失
とむハ則必利とと其時を得ずと行ふハ則必害とと仲